

# 大平台

米沢小学校だより 第 3 号

## 米沢小学校の伝統

### P T A 勤労奉仕

18日、土曜日はP T A 勤労奉仕でした。

前日まで私は、ぼうぼうに伸びている雑草を見て、「この広い敷地、きれいにできるのだろうか・・・」と心配していました。教頭からは、「大丈夫ですよ、米沢小草刈り隊がいますから」と言われましたが、それでも何人協力してくださるのか分からなかったのが不安でした。

さて、当日の朝を迎えました。本年度のP T A 会員の方はもちろんのこと、米沢小保護者O B、転出職員、これから入学する子をもつ地域の方など、たくさんの方が集まってくれました。私が教諭時代の懐かしい保護者の方もいらっしゃり、大変感激しました。私にとっては、巨悪（雑草）と戦うために集まったヒーローたちのように感じました。

さあ、職員紹介の後、早速草刈りが始まりました。さすがヒーローたちです。あっという間に広い敷地がきれいになりました。

米沢小学校では、子どもたちの学習のために田んぼ・苗を提供してくださる方がいます、トラクターで畑を耕してくれる方がいます、花の苗を提供して下さる方がいます、たくさんの方が米沢小学校を支え応援してくださっています。

このように、たくさんのヒーローがいることが米沢小学校の伝統ではないでしょうか。

### 〈命を大切にする教育〉

米沢小学校のホールには、複数の水槽があり、一人一匹錦鯉を飼育しています。そのねらいは、命を大切にすることにあります。

今、ゲームが子供たちの遊びの主流になり、そのバーチャルの世界では、命が軽く扱われています。また、核家族化が進み、身近に死を感じる機会が減っています。特別の教科とされた道徳では、「自然の中での生命、さらには、生死や生き方に関わる生命の尊厳など、生命の尊さについての考えを深めていくこと」が指導の一つとされています。錦鯉は1尾たりとも同じ模様がありません。そのため、一目で自分の錦鯉の見分けがつかず、入学式当日に自ら1尾錦鯉を選び、名前を付けています。水槽で毎日餌を与え観察を続け、飼育することで、「生命の尊さ」を体験できると考えています。

また、27日は全校集会がありました。その中で、校長として「命を大切にする」ことの話をしました。童謡作詞家の野口雨情の子どもを亡くした悲しみにふれ、命は見えないけれどとても大切なものであること、今、自分がいるのはお父さん・お母さんがいて、お父さんお母さんにもそのお父さん・お母さんがいてずっとずっと命はつながっていること、自分の命はもちろん、他人の命も大切にする、そして、そのために「死ね」とか「殺す」など乱暴なことを言わないように子供たちと約束をしました。

米沢小学校では、これからも命を大切にする教育を推進していきます。あっ、ちなみに私の錦鯉は「モコにゃん」という名前です。